

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

分解禁止 「分解禁止」を示します。

施工上のご注意

注意

必ず実行	●施工の際は、軍手等を必ずご使用ください。ケガをする恐れがあります。 ●流量調節のため、別途止水栓を必ず設置してください。流量調節がされていないと漏水・器具破損の恐れがあります。
禁止	凍結の可能性のある場所には設置しないでください。凍結破損により漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
注意	施工完了後、各器具から漏水がないかご確認ください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用上のご注意

注意

注意	施工直後は吐水時間や流量が安定しない場合がありますが、故障ではありません。10回程度を目安にハンドルを操作後、吐水時間と流量を調節してください。
-----------	--

製品仕様

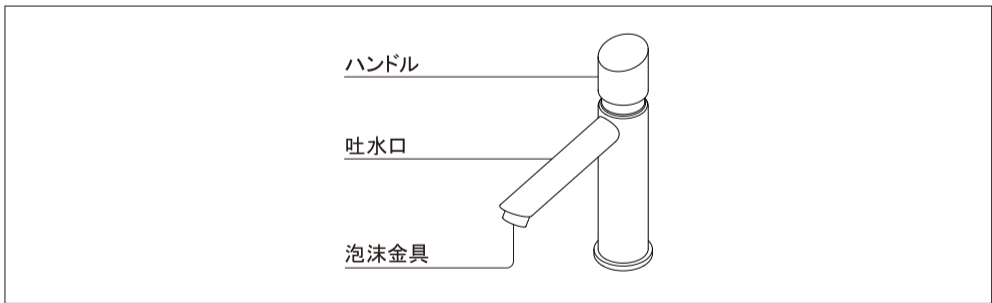
使用圧力	0.1~0.75MPa
使用水温範囲	1~45°C(一般上水道・凍結不可)

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材があることをご確認ください。

- 水栓本体
- 取扱シール

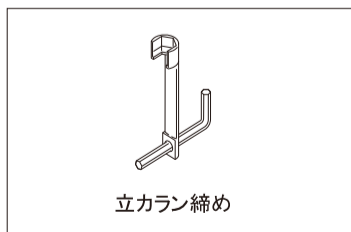
各部のなまえ



*品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

施工の前に

準備するもの

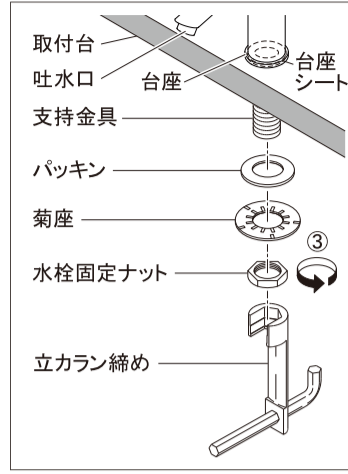


*左記に加えて、
●モンキーレンチ
をご準備ください。

施工方法

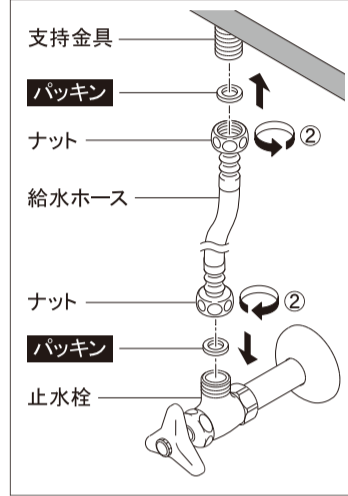
*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. 水栓本体を取付けます。



- ①支持金具から水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
- ②台座底面に台座シートが貼付けられていることを確認します。
- ③吐水口が正面を向くように取付台に差込みます。
- ④パッキン・菊座の順に支持金具に通し、「立カラン締め」などで水栓固定ナットをしっかりと締付けて固定します。

2. 止水栓と接続します。



- ①パッキンを給水ホースのナットにはめ込みます。
- ②給水ホースのナットにパッキンが入っていることを確認し、支持金具・止水栓にしっかりと固定します。
*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

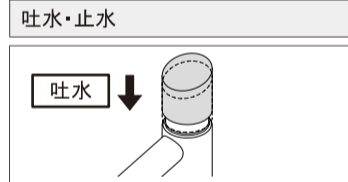
必ず実行 フレキパイプをご使用の場合は接続する配管を確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマー等の振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

施工後の確認

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを押したまま連続通水し、水ハネが少なくなるように止水栓を調節してください。(推奨範囲:5~8L/分)

使用方法

ハンドルの操作方法

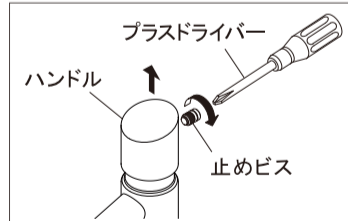


ハンドルを押込んでから手を離すと、一定量「吐水」したあと「止水」します。連続して吐水する場合は、ハンドルを押込み続けてください。

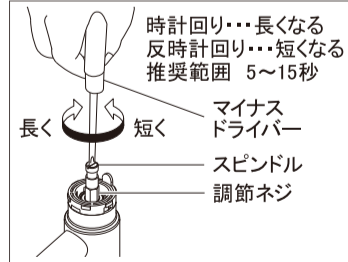
必ず実行 ハンドルはゆっくり操作してください。

吐水時間の調節方法

*作業の前に、流量を調節して吐水時間をご確認ください。



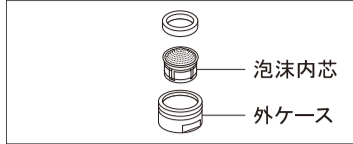
- ①ハンドル背面にある止めビスをゆるめ、ハンドルを上方向へ抜取ります。



- ②スピンドルを回転させて吐水時間を調節します。
*スピンドルを反時計回りにまわし過ぎると調節ネジが脱落することがあるため、まわし過ぎないようにご注意ください。
- ③ハンドルをスピンドルに取付け、ハンドルを押込んで吐水時間を確認します。
- ④調節後は、止めビスをスピンドルにしっかりと止まるまで締付けます。

お手入れ方法

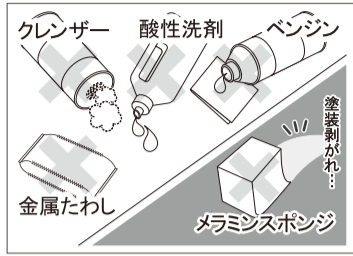
泡沫内芯のお掃除



ご使用開始時に比べて著しく水の出が悪くなった場合は、吐水口先端の泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。

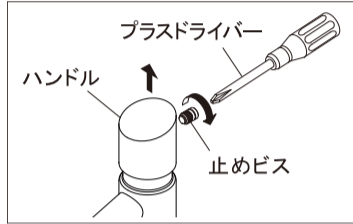


- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいでください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。

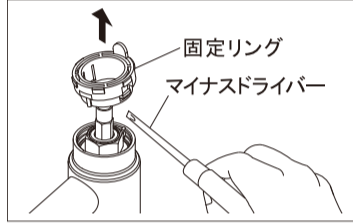
注意 金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

ストレーナーのお掃除

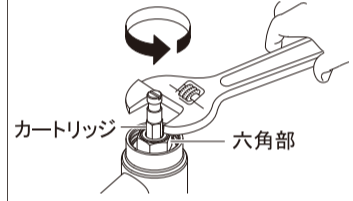
*作業前に、必ず止水栓または元栓を閉じて止水してください。



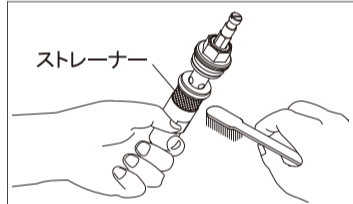
①ハンドル背面にある止めビスをゆるめ、ハンドルを上方向へ抜取ります。



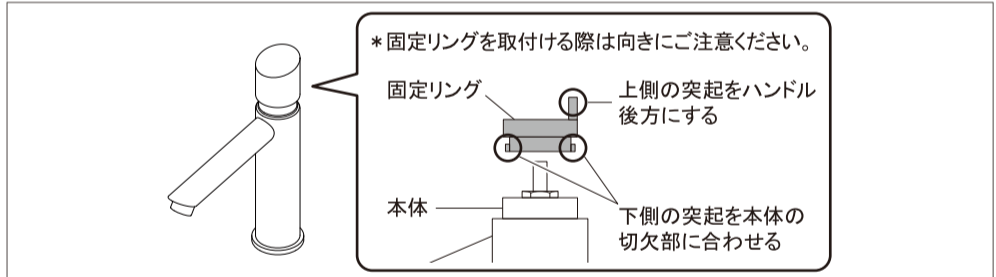
②「マイナスドライバー」などを固定リング下側の切欠部に差し込み、固定リングを取外します。



③カートリッジの六角部を反時計回りにまわして取外します。



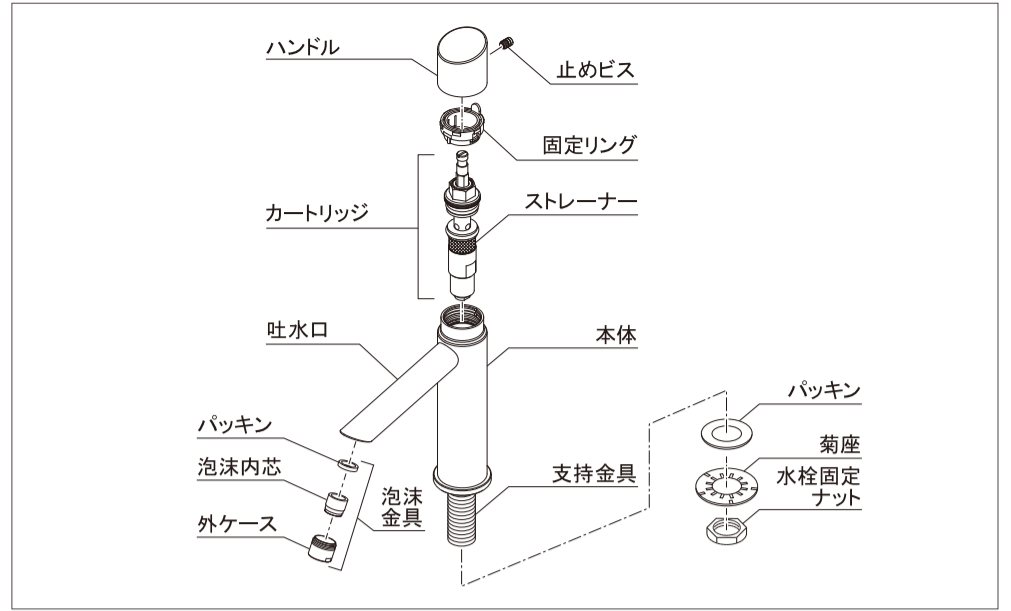
④カートリッジのストレーナー部に詰まったゴミなどの異物を水洗いします。



⑤①～③の逆の手順で組直してください。

*作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないことをご確認ください。

分解図



*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

こんな時には… 簡単な点検と対処

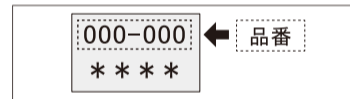
機能が正常に動かない時は、修理を依頼される前に、**分解図**を参考に下記の要領で点検してください。

現象	原因	対処
吐水量が少ない	止水栓が閉じすぎている	止水栓を調節する
	泡沫内芯の目詰まり	泡沫内芯を掃除する
	ストレーナーの目詰まり	ストレーナーを掃除する
吐水量が多い	止水栓が開きすぎている	止水栓を調節する
全く吐水しない	止水栓または元栓が閉じている	適正水量になるまで止水栓または元栓を開く
吐水時間が長い	止水栓が閉じすぎている	止水栓を調節する
	泡沫内芯の目詰まり	泡沫内芯を掃除する
	吐水時間の調節不良	吐水時間を調節する
吐水時間が短い	止水栓が開きすぎている	止水栓を調節する
	吐水時間の調節不良	吐水時間を調節する
止水できない	ストレーナーの目詰まり	ストレーナーを掃除する
ハンドルが重い	カートリッジの異常	カートリッジを交換する
	止水栓が開きすぎている	止水栓を調節する

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

分解禁止 本体内蔵のカートリッジや部品等は、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

修理を依頼される前に



お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせいただく際、水栓本体にシールが貼付けられている場合は、そちらで品番をご確認ください。